

都市国家シンガポールでの地域活動拠点 ～政府と住民との懸け橋“人民協会 (People’s Association)”を訪問～

シンガポール事務所

シンガポールは人口 547 万人を有する都市国家であり、日本のような地方自治体は存在しません。そのため、住民への行政サービスは、各省庁やその関係機関が直接行っています。また、中華系やマレー系、インド系などで構成される多民族国家でもあり、各民族の宗教や文化、価値観を尊重した国民の融和を図ることが、行政としての課題となっています。

このようなシンガポールに、政府と住民との懸け橋となるために設置された人民協会 (PA : People’s Association) に訪問する機会を得ましたのでご報告いたします。

1 人民協会の概要

人民協会は、人民協会法 (People’s Association Act Chapter 227) に基づき、シンガポールの与党である人民行動党 (PAP) が、地域活動や次世代の地域社会の指導者の育成などを行う拠点として 1960 年に設置した文化社会青年省 (MCCY) 所管の法定機関です。

組織規模としては、職員数が 2,700 名で、そのうち 1,600 名が各地域に設置されているコミュニティセンターやコミュニティクラブに配置されています。

「民族の融和と社会的結合」の促進を目的とし、地域住民を対象とした社会・文化・教育・スポーツ活動の企画運営や支援を行っており、シンガポールで大規模なイベントとなる旧正月恒例のチンゲイパレードやドラゴンボートレースなどの文化行事も、人民協会が主催しています。

また、外国人や新移民がシンガポールの文化や習慣を理解し、地域住民との交流機会を持つために、島内ツアーや様々な親睦イベントを企画・開催しています。

さらに、政府と地域社会の懸け橋として、政府が発表した政策を住民にわかりやすく各言語で説明したり、対話の機会を提供して住民の声を関係政府機関に届けたりする役割も担っています。

人民協会の予算は、収入の 90%以上が政府からの補助金となっており、支出は施設の管理運営経費や人件費、各種イベントや講座開催の経費等となっています。



旧学校を利用した PA 本部 (外観)

2 住民の憩いの場：コミュニティセンター／コミュニティクラブ

シンガポール内には、人民協会が所管する107カ所のコミュニティセンター／コミュニティクラブ（以下「CC」という。）が設置されており、そこでは、各地域での生涯教育や青少年育成、民族融和などの活動や様々な講座を受講できます。

また、言語や宗教に関係なく地域住民の交流の機会となる様々な講座は、シンガポール国民以外の外国人も受講することができ、人民協会が開設している「onePA」のウェブサイトから入会登録すれば、すべてのCCの講座を受講することができます。講座の種類も、民族料理教室からスポーツアクティビティ、子どものための絵画教室など様々です。

施設の設置要件として、15,000戸で10区画のエリアまたは5万人以上のエリアに1つのCCを確保することとなっており、現在も、人口の増加や住宅開発により新たなCCの施設が建設されています。

CCの建設には、地域住民のニーズや意見も積極的に取り入れられています。例えば、新たな住宅開発により建設されるCCは比較的若い年代の住民が多いため、住民の話し合いにより、家族連れで週末を楽しめるようCC内にプールを設置したケースもあります。また、より地域住民が利用しやすいようにマクドナルドやスターバックス、警察などとの複合施設も建設されています。



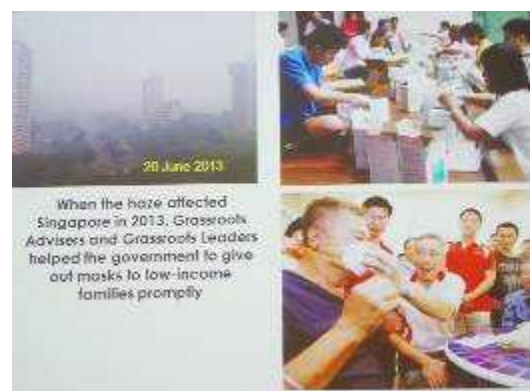
住民の意見でプールを併設したCC

3 地域を支える草の根ボランティア団体

人民協会が所管する草の根活動の団体は2,000団体あり、幅広い年齢層で34,000名のボランティアリーダーが登録し活動を行っています。

これらの団体は、CCを拠点として個々のニーズに合った活動を行うほか、草の根ネットワークを生かし、住民の生活に密着した身近な地域課題にも取り組んでいます。

取り組みの事例としては、ヘイズ（煙害）発生時に、人民協会の会長でもあるリーシェンロン首相と共に各地域の草の根団体が、住民にマスクを一斉配布しました。



首相とマスクを配布する草の根団体

4 シンガポール最大のお祭り “チンゲイパレード”

チンゲイパレードは、旧正月を祝うイベントとして人民協会が主体となって毎年盛大に開催されています。

パレードでは、各種民族による民族衣装やダンスなどの披露のほか、ダンスが苦手な住民でもイベントに参加できるようにペットボトルを使ったカラフルなツリー製作講座や、バティック柄の大きな台紙に好きな色をペイントして作品を完成させる講座など、人民協会本部や地域の CC で子どもから大人まで気軽に参加できる取り組みを行っています。また、これらのイベントには多くの新移民も参加しています。

2015 年は建国 50 周年の記念すべき年でもあり、多くの住民が一体となってチンゲイパレードを盛り上げる取り組みが行われています。



民族衣装でパレードに参加する様子



みんなの願いを叶えるツリーの製作

4 おわりに

人民協会は、「Resident-Centric (住民中心)」の考えの下、様々な年代や人種で構成される住民を主体として、それを下支えする組織として地域に密着した活動を行っています。

国家主導で経済発展を遂げてきたシンガポールにおいても地域住民の存在は大きく、政府は人種を超えた「シンガポール人」としての国民意識の醸成を人民協会という組織を通じて図っています。

(金子所長補佐 山口県山口市派遣)